

Information

相談のご案内

ひとりで悩んでいませんか?

自分のこと、家庭のこと、職場のことなどさまざまな悩みを、女性の相談員がお聞きします。

女性の悩み 電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

【パートナーシップさいたま】 ☎048-643-5813

●月～金/10:00～20:00 ●土日祝/10:00～16:00

【女・男プラザ】 ☎048-875-9653

●金/10:00～17:00

【浦和区(女性の相談室)】 ☎048-829-6129

●月・火・水・金/10:00～17:00

【中央区(女性の相談室)】 ☎048-840-6132

●月・水/10:00～17:00

法律相談 (予約制)

女性の弁護士が相談に応じます。

【パートナーシップさいたま】 ☎048-642-8107

●第2・第4水曜日/13:00～15:30

【女・男プラザ】 ☎048-875-9966

●第1・第3火曜日/13:00～15:30

心とからだの健康相談 (予約制)

女性のからだ全般、思春期、更年期におけることからの悩み、家族の健康などの相談に医療の専門家が応じます。

【パートナーシップさいたま】 ☎048-642-8107

●第3水曜日/13:00～16:00

●相談は無料です。●秘密は厳守します。

図書のご案内



月刊切り抜き情報誌「女性情報」

(有)パド・ウイメンズ・オフィス発行

毎号、特別企画を立てて独自の調査による記事を冒頭に掲載、そのあとはほぼ全ページを前月の新聞記事の「抜き刷り」に当てている、ちょっと風変わりな雑誌。ページを繰っていくうちに思わず目を引く記事にぶつかり、貴重な資料を探す楽しみが生まれる。

全国紙、ブロック紙、いずれも相手の許諾を得ての収録で、◆行政◆ひと◆企業◆政治◆からだ◆こころ◆性◆グループ◆フェミニズム◆ライフスタイル◆子ども◆高齢社会◆文化◆本……といった各テーマ別に掲載しているところが便利でいい。

A4サイズの260ページ前後、購読料はややお高いが、当「パートナーシップさいたま」や市の図書館で閲覧できる。

同社・編集部にお問い合わせると、「切り口は女性ですが、主な読者は官公庁関係、議員、弁護士、ライターなど、それぞれ仕事に使われている。個人も視野を広め、見落としていた知識を得るのに格好の本。一度手に取ってみてはいかが。(H)

ビデオのご案内

「いま、男たちが変わりはじめる」

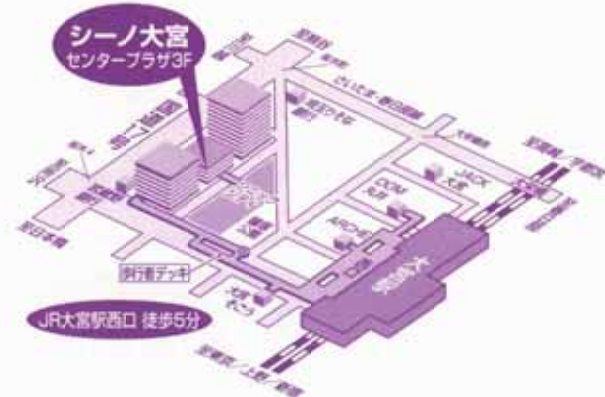
財団法人 東京女性財団編 (28分)

サラリーマンの家庭を支える基盤「主人と奥さん」の構図が大きく変わってきている。

「家庭婦人」が働きに出ることが当たり前になってきたこと、「企業戦士」が苛烈な経営効率化の嵐の中で、今までの忠誠心と終身雇用を軸とした企業一家の温もり感を喪失し、業績オンリーの殺伐とした競争社会に違和感や失望感をもって、家庭や地域の中に安息の場を求め帰郷しはじめている事情が背景となっている。

このビデオは10人の男性の事例を通して、家庭の中の「主人と奥さん」という上下の関係から「夫と妻」という対等な関わり方が、若い世代だけでなく、一種の必然として急速に広まってきている現実を映しだしている。

男は外で働いてきて…女は家事・育児…といった「常識」や「仕組み」は何かおかしいなと感じたり、望ましい男女のパートナーシップとはということに関心をお持ちの方は興味深くご覧になれる一本。(N)



編集後記

男女共同参画と言ってしまうと、男女の共生というふうな形ばかりが目がいまがちなところがある。が、実際には男性も女性も人としてそれぞれ個性があつて、それに対する感じ方も人によって異なっていると思われ。

他人に対して厳しい意見を言いたくても、その言葉を一つ一つ選んで相手への気持ちを考えながら話しかける人、自分の感情が先にたつた、ただただ強く言い放ちその後のフォローもない人、話し合いを自ら避けてしまふ人、話し合いの後、ねざらぬ言葉をかけ感謝を言える人、

事実に対する感じ方も相手への言い方、表現次第で、受け取り側の感情がプラスにもマイナスにもなる。そこに人としての心を感じる。基本となるのは相手との信頼関係。「コミュニケーション」を心あるものとしていきたいと思つたのである。

(吉岡 万里子)

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.3 2004年12月25日発行

〈編集・発行〉パートナーシップさいたま(編集員/鈴木久美子・野田義章・長谷川寛・吉岡万里子・渡部祐子)

さいたま市男女共同参画推進センター

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18(シーノ大宮センタープラザ3階) TEL.048-642-8107 FAX.048-643-5801

E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.jp



この印刷物は古紙の配合100%の再生紙を使用しています

もくじ

○公開講座と講演会

公開講座を聴いて……2

暴力は許せない!

私にも潜在

秋の講演会を聴いて……3

女であるがゆえの評価には一葉もNO!

○新着図書情報……3

○Information……4



「パートナーシップさいたま」で
「こころ」をえまじらひ

鐘の音

Kane-no-Ne



パートナーシップさいたま
さいたま市男女共同参画推進センター

(誌名の由来)

大宮の古い地名「鐘塚」に建てられたさいたま市の新しい拠点、「パートナーシップさいたま」から、男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、その願いを込めて名づけました。